

平成十九年度

宮崎県文化講座研究紀要

(旧宮崎県地方史研究紀要)

第三十四輯

宮崎県立図書館

## 序 文

宮崎県立図書館主催の「宮崎県文化（地方史）講座」は、昭和四十九年に開設され現在に至っています。

本年度で三十四輯を数える本研究紀要は、文化（地方史）講座に登壇された方々に発表、講演いただいた内容についての寄稿をお願いし、収録してきたものです。本年度まで、宮崎県の政治史や文化史、自然科学史やまた、民俗など多方面にわたり、延べ二百七十三名の方々に登壇及び執筆いただきました。

本年度は、四回の講座を開催しました。多数の方々を受講いただきました。関係諸機関に対して心からお礼を申し上げます。

その内容は、岡本武憲氏による「宮崎県南部の古代末から中世の集落」、竹村茂紀氏による「そして少年は、海を渡った。〜伊東マンショ渡欧8年の意味するもの〜」、山下真一氏による「都城島津家の文化財について」、出口智久氏による「宮崎市動物園の歩み」です。また、昨年度講演された増田豪氏による「延岡藩における能楽」の続編も載せています。いずれも本県の文化（地方史）の発展に大きく寄与する内容となっております。

今後とも、この講座が県民の皆様に一層親しまれ、多くの方々を受講していただくとともに、本研究紀要が、県内外の様々な分野で広く活用されることを願ってやみません。

平成二十年三月

宮崎県立図書館長 宮 永 博 美

# 目次

- 一 そして少年は海を渡った―伊東マンショ渡欧八年の意味するもの―……………竹村茂紀
- 二 都城島津家史料の寄贈から保存・公開に向けて……………山下真一
- 三 宮崎市の動物園の歩み……………出口智久
- 四 内藤家旧蔵の能・狂言面について―伝来過程をめぐる一考察―……………増田 豪
- 五 宮崎県南部における古代末から中世の集落「文化(地方史)講座資料」……………岡本武憲

※五につきましては、裏表紙より御覧ください。